

安全運転管理者会報

vol. 589

2025.11・12月号

発行所・責任者：(一社)山口県安全運転管理者協議会 ☎083-973-1578
〒754-0002 山口県山口市小郡下郷3560番地2 (山口県総合交通センター内)
[責任者] 高山龍夫 [奇数月/10日発行] <https://www.yamaguchi-ankan.or.jp/>



県内の交通事故

10月30日現在 ※()内は前年同期

発生

1,893件 (1,722)
[増減] +171件

死者

28人 (39)
[増減] -11人

傷者

2,266人 (2,056)
[増減] +210人

12月の目標

実施事項

- ▶ 年末年始の交通安全県民運動への積極的な参加
- ▶ 酒気残り運転対策の推進
- ▶ 酒席時の飲酒運転防止対策の徹底
- ▶ 飲酒運転はしない・させない・許さない

1月の目標

実施事項

- ▶ 事業所の事故防止に関する課題の把握と対策
- ▶ 冬道での事故事例の周知
- ▶ 降雪・凍結時の安全運転の指導
- ▶ コースアウト4(し)ない運動の実践

飲酒運転を追放しましょう

- 「飲んだら乗らない 乗るなら飲まない 飲ませない」(飲酒運転追放三ない運動)を徹底し、職場や家族ぐるみで飲酒運転を追放しましょう
- 「少しだから大丈夫」「もう酔いがさめたから大丈夫」という安易な判断をすることなく、「飲酒したら絶対運転しない」を当たり前にしましょう
- 事業主、安全運転管理者が中心となり、忘年会等の次の日に二日酔い運転とならないよう運転管理を徹底しましょう
- 会合などで酒類を出す習慣を改めるようにしましょう

県下統一行動日

- 12月5日(金)
「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日
- 12月9日(火)、1月9日(金)
「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日

安管統一行動日

- 12月18日(木)、1月19日(月)
「スピードダウン」を呼びかける日
- 12月19日(金)
「飲酒運転の根絶」を呼びかける日
- 1月5日(月)
「スリップ防止措置」の点検

エコドライブのチェックアドバイス ～不要な荷物はおろそう～

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100キログラムの荷物を載せて走ると、3パーセント程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

エコドライブは、環境にも経営にもやさしい
何よりも、交通事故防止につながります

交通安全スローガン

住みよい山口 いつも心に 交通安全

高齢者の交通事故防止 県民運動



期間

前期

令和
7年

11月9日日▶15日土

後期

令和
8年

3月9日月▶15日日

©山口県

交通安全



運動
の
重点

高齢歩行者の
交通事故防止



運動
の
重点

高齢運転者の
交通事故防止



運動
の
重点

高齢者の自転車
安全利用の推進



運動
の
重点

反射材・
ハイビームの活用推進

交通安全山口県対策協議会



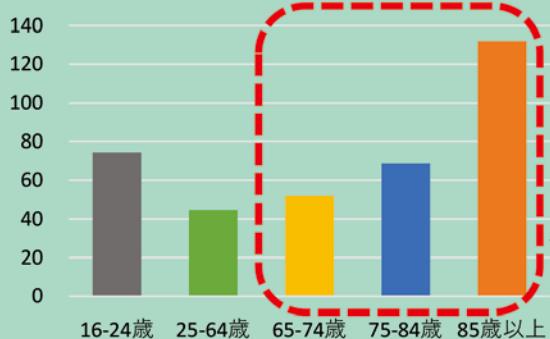
- ・**横断歩道を利用しましょう**
※ 横断歩道がない場合は左右がよく見える場所で渡りましょう
- ・**青信号でも左右の安全確認をしましょう**
※ 横断途中も左右の安全確認を！
- ・**慣れた道でも油断大敵です**
早朝・夕方・夜間は…
- ・**反射材で自分を目立たせましょう**



山口県警察・(一社)山口県安全運転管理者協議会

あつと驚くその一瞬 ～ドライバーの皆さんへ～

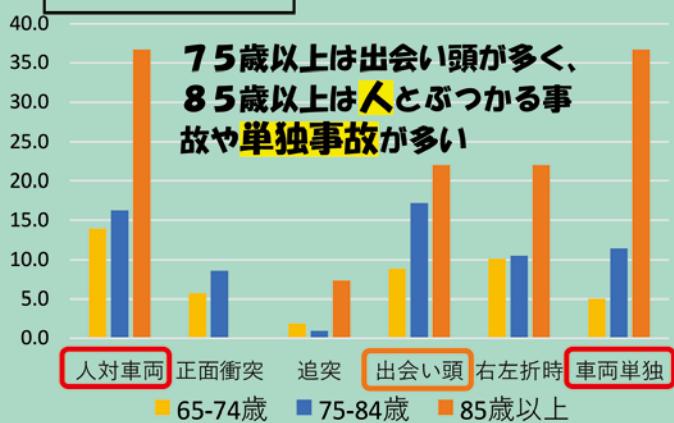
【あわや電車と衝突！？】
この事故は、高齢ドライバーが、**アクセルとブレーキを踏み間違え**、フェンスをなぎ倒し軌道敷内に進入したものです。



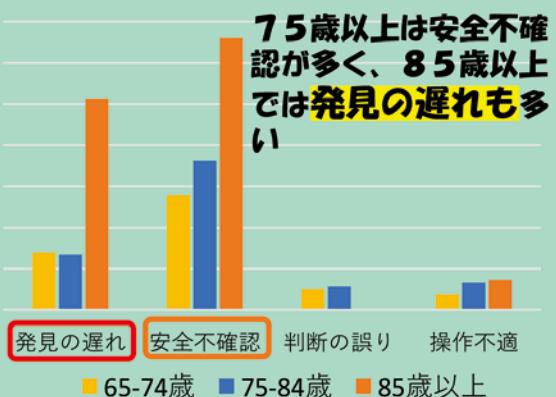
原付以上運転者(第1当事者)の運転免許保有者
10万人あたり死亡・重傷交通事故(令和6年中)

免許保有者をもとに比較すると、重大事故の第一当事者となる割合は、高齢ドライバーが約**7割**！！！

◎事故類型別



◎事故原因別



特徴

年齢が上がるにつれて、人とぶつかる事故や単独事故が多くなり、危険の発見遅れや見落としが多くなっています。



- 高齢ドライバーの交通事故の特徴を知り、慎重な運転を心がけましょう
- 身体機能の変化を自覚し、免許返納のタイミングを見極めましょう

身体機能を自覚するために、自動車学校で実施している「交通安全定期診断」や、警察が行っている「ドライブレコーダーを活用した交通安全指導」を受けてみませんか？



詳しくはお近くの警察署へ問合せを

安全運転中央研修所 研修体験記

この度、令和7年7月28日から7月31日までの4日間、茨木県ひたちなか市の安全運転中央研修所へ入所し、「安全運転管理課程」の研修を受講しました。

理論では主に「車両の特性」「交通危険学」について学び、運転をする時は日頃から危険感受性を高め、起こりうる危険を予測すること、車両の特性を知り、状況に応じた運転をすることが安全運転につながることを改めて学びました。

実技では「ブレーキング研修」や「スキッド走行」等危険な走行を安全に体験するということで研修所でしか体験することができない貴重な経験ができました。

「ブレーキング研修」では、ABSの性能を活かして、より短い制動距離で安定して車両を停止する体験をしました。日頃の運転では急ブレーキをかけることはなかなかありませんが、緊急時により早く車両を停止させ、事故を回避する為のブレーキ操作を実際に体験することができました。

また、その中でより早く停止する為には正しい運転姿勢をすることが大切になり、姿勢が悪いとブレーキを強く踏むことができず、車両停止が遅れてしまうことを学びました。

「スキッド走行」では、路面の状況によって車両の性能、ハンドル操作にも限界があるということを実際に走行し、改めて知ることができたので、状況に応じた運転方法を意識することで安全運転へつながることを理解しました。

4日間の研修を通して、危険感受性を高めるだけではなく、正しい運転姿勢をすることで運転中の死角が減り、緊急時のブレーキハンドル操作等の操作性が上がり緊急回避しやすくなるということも学んだので事故のリスクを少しでも低下させるために、今後に活かし、安全運転に努めていきたいと思います。

セントラル硝子(株)
宇部工場

長澤 雅貴



クリーンセーフティ山口2025の開催について

令和7年9月13日(土) JAF山口支部、山口県警察、県安管の共催で、交通安全学習館並びに自動車試験コースを利用して、クリーンセーフティ山口2025を開催しました。

5事業所(表のとおり)6名の方が参加され、JAF職員による座学と実車(レンタカー)を使用した講習を受講しました。

実車の講習では、助手席にインストラクターを乗せて「発信」「巡回」「減速」「停止」の4項目についてアドバイスを受けながら、運転前後の燃費を計測してエコドライブの効果について確認をしました。

閉講式では、受講者ひとりひとりに修了証が手渡され、受講した皆さんにはエコドライブ実践による安全運転の意識向上を高められました。

クリーンセーフティ山口2025 参加事業所
令和7年9月13日

協議会	事業所名
宇部	セントラル硝子(株) 宇部工場
山陽小野田	(株) 中電工 小野田営業所
厚狭	(株) 宇部建設コンサルタント
小串	(有) 中野クリーン住設
下関	下関パッキン(株)



社員の交通安全意識を高めよう！！

社員の交通事故防止対策について悩みはありませんか？

交通安全学習館では、様々な体験機器や実車を使った参加・体験型の交通安全講習を行っています。

体験カリキュラム例をご紹介しますので、貴社の交通事故防止対策の一環としてぜひご利用ください。



社員に交通安全意識
を浸透させたい

若手社員の交通
事故を減らしたい

社員を交通事故
から守りたい



研修(午前)のカリキュラム例(対象20名の団体)

	講習内容	所要時間
9:00		
9:10	オリエンテーション	10分
9:50	危険予測トレーニング (四輪車事故体験シミュレータ)	40分
10:20	展示機器による自己学習	30分
11:00	エアバック爆発体験 エコドライブ講習 飲酒運転防止講習	40分
12:00	実車講習	60分

団体カリキュラムは5名から利用可能です。

カリキュラムの内容・時間配分は一例になります。御要望に応じて、

- カリキュラムの拡充（動画KYT等）・縮小
- 時間帯（1日・午前午後）の変更

※ 四輪車事故体験シミュレータ（1回300円）は必須となります。

危険予測トレーニング
事故体験シミュレータを使用して
道路に潜む危険を体験し、危険予
測の学習をします。

展示機器による自己学習
自身の俊敏性等を測定できる機
器や最新のVRシミュレータを体験で
きます。



エアバック爆発体験
エアバック作動時の衝撃を体験し、シートベルト着用の重要性や
正しい乗車姿勢を学びます。

エコドライブ講習
シミュレーターの運転を通じてエコドライ
ブの手法を習得し、安全走行に繋が
ることを学習します。



動画KYT
危険場面を走行する映像の視
聴を通じて他者との危険感受性の
違いを認識することで、危険予測
能力の向上を図ります。

飲酒運転防止講習
飲酒ゴーグルを装着し反応時間の
遅れ、視覚の歪み、判断力の欠如
など、飲酒による影響とダメージの
大きさを疑似体験することで飲酒
運転防止を図ります。



企業担当者の声

- 交通事故防止の指導要領が学べた。
- 基本を再認識させることの重要性がわかった。
- 社員も楽しみながら学習できたので、再利用し
ようと思った。



山口県交通安全学習館

〒754-0002 山口県山口市小郡下郷 3560-2
Tel.Fax (083) 973-1900



学習館 HP

実車講習
屋外の専用コースで
・ 急ブレーキ(ABS)
・ ダミー人形での衝突実験
を体験できます。
車両の死角や内輪差などの車両特性
も学習できます。



開館時間】9:00～16:30（最終受付16:00まで）

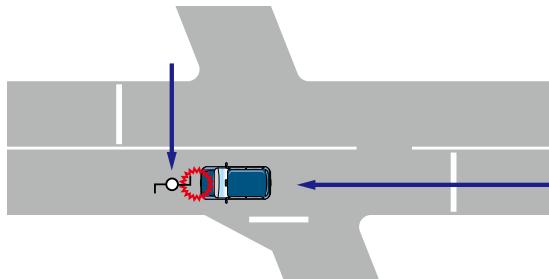
【休館日】毎週月曜日・年末年始（12月28日～1月4日）

【利用料】入館無料 ※四輪車事故体験シミュレータ1回300円

薄暮時の横断歩行者との事故防止

■ 事故の概要

薄暮時間帯の午後5時頃、A市の県道交差点において、男性が運転する軽四乗用車と道路横断中の歩行者（高齢女性）が衝突し、歩行者が死亡する交通事故が発生しました。



道路環境等

- 晴天、交差点内
- 駐車禁止
- 住宅街、街路灯なし
- 前照灯点灯なし

■ 検討項目

- この事故の原因は何が考えられるか。
- 同種事故の防止を図るために、安全運転管理者として行う対策は何か。

■ 安全運転管理のアドバイス

1 事故原因

軽四乗用車の運転者が交差点を進行する際、前照灯を点灯せず、進路遠方をぼんやりと眺めた状態で運転していたことから、道路を右から左に横断中の歩行者に気付くのが遅れ、衝突したものと考えられます。

2 薄暮時の交通事故防止

最近は、日没時間が急激に早まり、現場や営業先から帰社する時間帯や退社時間帯には既に周囲が暗くなっているのではないかでしょうか。

周囲の明るさによって対向車や道路、その付近の見え方は大きく変わります。

特に薄暮時の明るさの変化は大きく、急激に視界が狭くなるとともに、安全確認も十分にできなくなる場合があります。

明るい時間帯と同じような速度、安全確認方法で運転していくは、交通事故の危険性は当然高まりますので、速度は控え目かつ慎重に運転しましょう。

また、県内の過去5年の9月から12月の時間帯別交通事故死亡事故件数を見ると、自動車対歩行者の事故は昼間に比べ夜間、薄暮時間が2倍以上となっています。

3 同様の事故を起こさないために

(1) 早めの前照灯点灯とハイビームの効果的な活用

夕暮れ時は、周囲が暗くなる前に前照灯を点灯し、自動

車の存在をアピールしましょう。

また、ハイビームとロービームを効果的に使い分けることが重要です。

ハイビームとロービームは、「ライトが照らす範囲」が違います。

ハイビームは約100メートル先まで照らすのに対し、ロービームは約40メートル先までしか照らすことができません。

更にロービームは、対向車のドライバーが眩しくないように、進路右側を照らす範囲が制限されており、進路右側の歩行者を発見しづらくなります。

ハイビームとロービームをこまめに切り替え、歩行者や自転車を早期に発見し、交通事故を防ぎましょう。

(2) 道路環境に応じた運転

街路灯や店舗等の照明により明るい道路や、直線で道幅の広い道路、街路灯が少なく周囲の確認がしづらい道路やカーブが続く道路など、道路環境は様々です。

人や車の通行が多い繁華街はもちろんのこと、住宅街や山間部等でも人家やコンビニの明かりが見える場所付近では、「横断する歩行者等がいるかもしれない」と予測し、速度を控えめにして、歩行者等の有無を確認しながら運転する習慣をつけましょう。

(3) 反射材の積極的な着用

反射材は自動車のライト等を反射し、歩行者や自転車の存在を自動車運転者に知らせることができる、夜間の交通事故防止に効果的なグッズです。

たすきやリストバンド、キーホルダーのほか、反射素材で作られたエコバッグ等様々な種類がありますので、使いやすい反射材を選んで、積極的に身に着けましょう。

歩徒や自転車通勤の方はもちろん、車通勤であっても、職場から駐車場までの移動時などには反射材を身に着け、ドライバーに自分の姿を早く発見してもらえるようにしましょう。

山口県の交通事故発生状況

1 9月末の交通事故発生状況

区分	人身事故 発生件数	死者数	負傷者数	物損事故 発生件数
令和7年9月末	1,695	24	2,029	27,592
令和6年9月末	1,532	35	1,824	27,481
前年比	163	-11	205	111

2 横断歩道横断中の死者及び負傷者

区分	死者数	負傷者数
令和7年9月末	2	78
令和6年9月末	5	78
前年比	-3	0

3 安管事業所従業員が主原因となった交通事故の発生状況（私用中の事故を含む）

区分	人身事故 発生件数	死者数	負傷者数
令和7年9月末	143	1	162
令和6年9月末	140	4	174
前年比	3	-3	-12
構成率	8.4%	4.2%	8.0%

※構成率は、全人身事故発生件数に占める安管事業所従業員が主原因を作った交通事故件数

令和7年交通安全 年間スローガン

- 「大丈夫」 一番危険な 思い込み
- どんなときも わすれちゃだめだよ みぎひだり
- 守ろうよ チャイルドシートで 子の未来

山口県交通安全協会・山口県安全運転管理者協議会

1月の目標

- 年始の交通事故防止
- 事業所の安全管理年間計画・目標の設定
- 冬道運転の危険の周知

「スピードダウン」を呼びかける日
安管統一行動日
「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日
県下統一行動日
「スリップ防止措置」の点検

19日(月)
5日(月)

9日(金)

山口県交通安全協会

12月の目標

- 年末年始の交通安全県民運動（10日～1月3日）
飲酒運転ゼロの推進
- 「横断歩道ハンドサイン運動推進」を呼びかける日
県下統一行動日
- 「反射材・ハイビームの活用」を呼びかける日
安管統一行動日
- 「スピードダウン」を呼びかける日
「飲酒運転の根絶」を呼びかける日
5日(金)
- 18日(木)
9日(火)
- 19日(金)

山口県安全運転管理者協議会